

授業概要

本講義は、法人税法の基本的な知識を修得するとともに、法人税法と企業会計との関係を明らかにし、法人の企業活動と法人税との関係について考えることができる能力を養うことを目的とする。講義の中では、必要に応じ、税務専門家の観点から、実務上の注意点や問題となっている事項を取り上げたり、タイムリーな話題となっている事項にも触れて講義を行う。

授業計画

第 1 回	税務会計論とは		
第 2 回	法人税の概要		
第 3 回	法人税の課税所得		
第 4 回	法人税と企業会計の関係等		
第 5 回	益金の額の計算その1－受取配当等、資産の評価益等		
第 6 回	損金の額の計算その1－売上原価、固定資産の減価償却①		
第 7 回	損金の額の計算その2－固定資産の減価償却②		
第 8 回	損金の額の計算その3－繰延資産、役員給与等		
第 9 回	損金の額の計算その4－交際費等、寄附金		
第 10 回	損金の額の計算その5－租税公課・罰金等①		
第 11 回	損金の額の計算その6－租税公課・罰金等②		
第 12 回	損金の額の計算その7－その他の損益		
第 13 回	法人税額の計算、申告納税		
第 14 回	計算演習		
第 15 回	総まとめ		
第 16 回	期末試験		

到達目標

1. 法人税法の基礎を身につけるとともに、法人税と企業の経済活動とのかかわりを理解することができる。
2. 企業会計と法人税法との関係を理解することができる。
3. 法人税の所得金額と法人税額の基本的な計算ができる。

履修上の注意

企業会計の立場から法人税の仕組みを学習するため、基礎的な簿記・会計の知識があることが望ましい。

予習・復習

予習は特に必要ないが、毎回の授業後の復習は必要である。

評価方法

期末試験（70％）、授業内レポート等（30％）で評価する。授業への貢献により加点することがある。

テキスト

- ・教科書名：（第3版）要点解説 税務会計基礎講座
- ・著 者 名：平野嘉秋
- ・出版社名：一般社団法人大蔵財務協会
- ・出 版 年（ISBN）：978-4-7547-2564-8